

股関節痛、腰・臀部痛、 膝痛を呈した症例

痛みに着目して

清泉クリニック整形外科 福岡
理学診療部 雪竹 峻輔

患者情報

- 年齢、性別：50代 女性
 - 職業：1級建築士（調査委員）
 - 疼痛部位：股・腰・臀部痛（左）、膝痛（右）
 - 既往歴、現病歴：特になし
-
- 主訴：建築物の調査委員をしている為痛みなく仕事が出来るとなりたい。

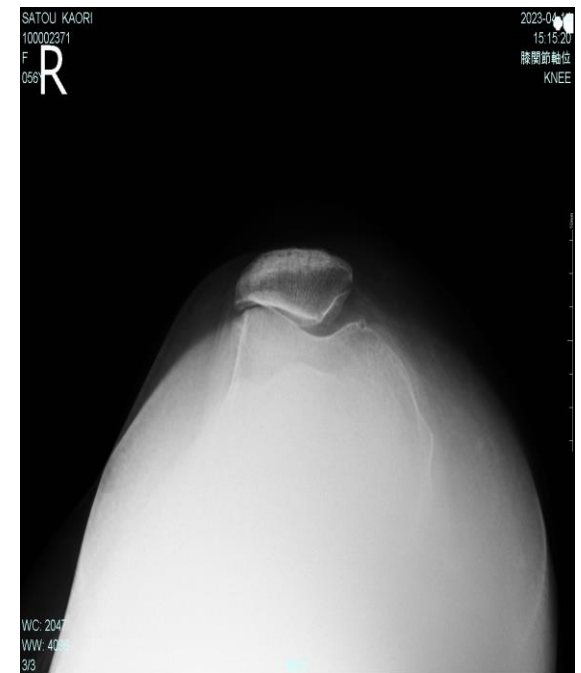
医学所見

- 画像所見

スウェイバック、L3滑り、膝内側OA



下肢（画像所見）



理学療法所見

- ・ 患部評価

安静時痛-（時折） 動作時痛+（歩行時痛）

股関節P-可動時痛+ A-可動時痛+

可動域制限-

- ・ 柔軟性評価

長座体前屈テスト-16/20cm 広背筋テスト90°

ファダーフ-/+ ファベレー-/+ SLR- t 55/40°

JGL+ ?

機能評価

下部回旋テスト +/+

荷重バランス 55/35 k g

片脚立位3/1秒

WBI40/43 %MV47.8

考察 ①-1

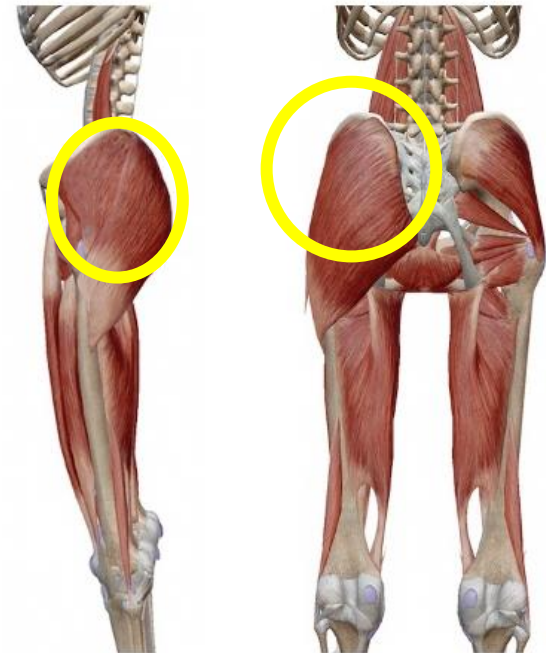
(4/14～4/18)

- ・ 股関節、腰・臀部痛

安静時- 動作時+ (歩行時)

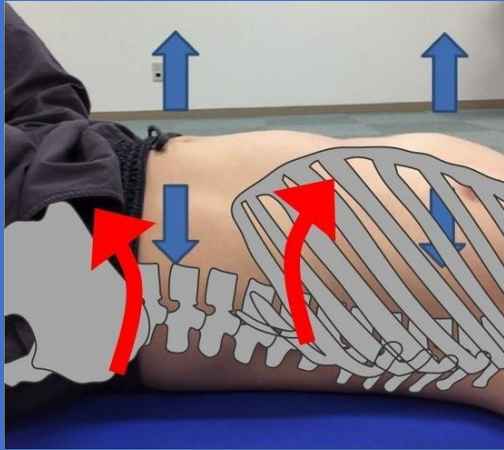
パルムサイン+

→ 筋・筋膜性疼痛？

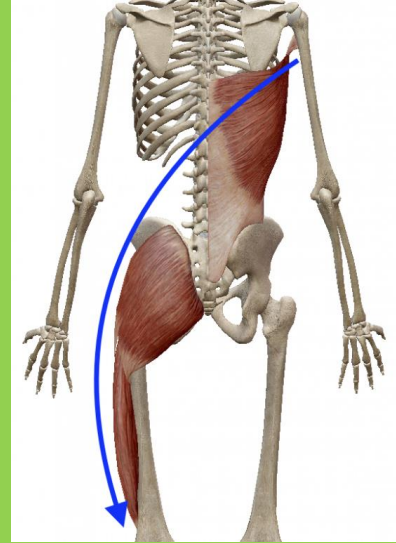


考察①-2

(4/14~4/18)



骨盤と胸郭の関連



アナトミー

下部胸郭機能障害

変化点

広背筋テスト 90° → 120°

下部回旋時痛 +/+ → -/+

NRS : 10 → 5/10

股関節可動時痛 + → 股関節回旋時痛 +

考察②-1

(4/25～5/18)

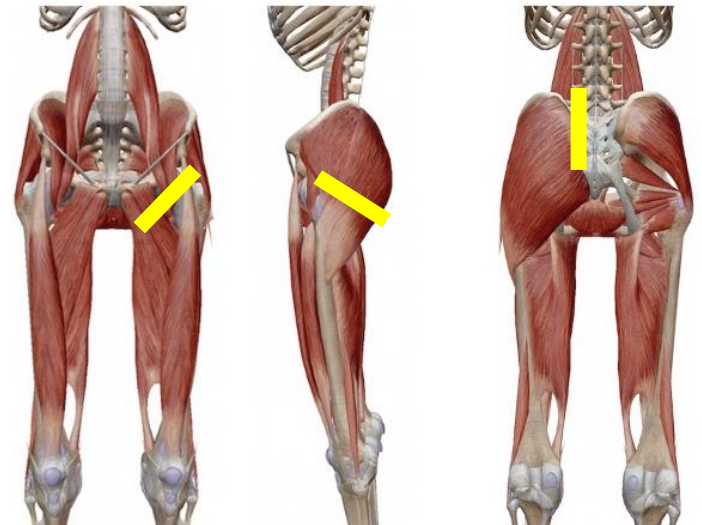
- 股関節、腰部痛・臀部痛
前回のリハ後と著変無し
歩行時痛+ NRS5/10
股関節回旋時痛+

フィンガーサイン+

Cサイン+

→局所？

→関節性疼痛？



考察②-2

(4/25～5/18)

仙腸関節機能障害

→仙腸関節AKA

股関節アライメント異常

→股関節モビライゼーション

変化点

安静時-→+ 動作時+→++

NRS：5/10→8/10

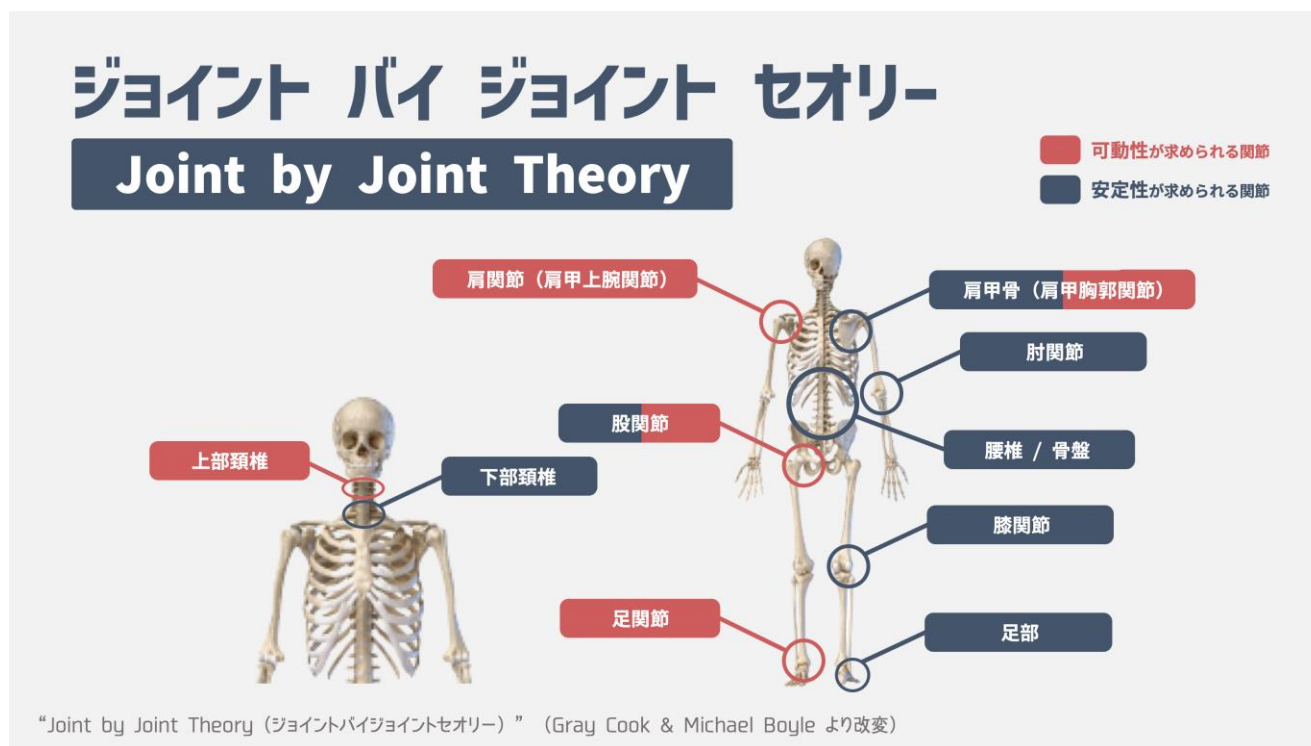
ファダーフ-/+→+/+

ファベレー+/+→+/+

股関節可動時痛-→+

疼痛増悪？

仙腸関節へのストレス過多となり
疼痛誘発と推測。



歩行観察

離開ストレス？

歩行時の側方動揺？

歩行時の立脚層の短縮？

考察③-1

(5/29～現在)

歩行時の体幹側方動揺

離開ストレス

歩行時の立脚層の短縮



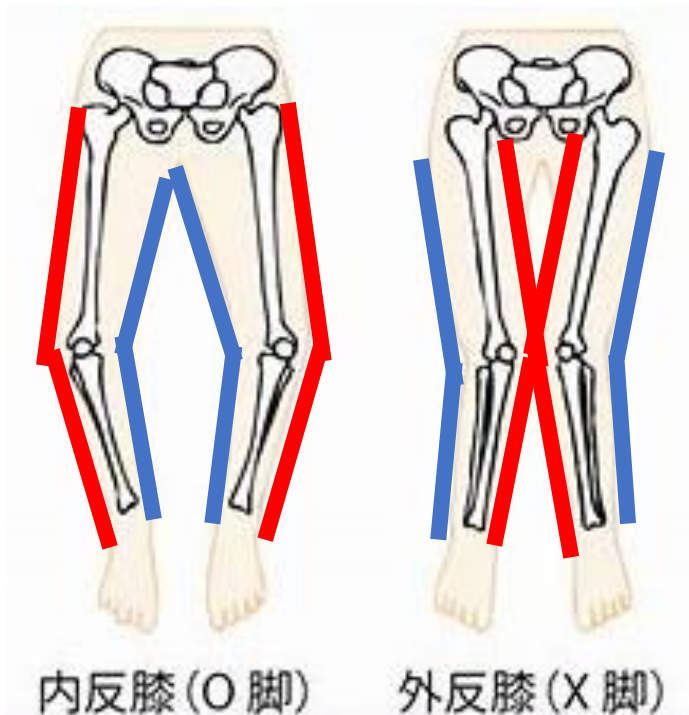
膝関節のアライメント異常



足部の回内？足部のアライメント異常？

考察③-2

(5/29～現在)



赤：過緊張

青：低緊張



赤：骨盤前傾

青：骨盤後傾

アプローチ

仙腸関節のうなずき、離開刺激を避けるように
膝関節、足関節アライメント調整、
大殿筋、中殿筋促通

4月末と5月末（歩行）

4月末と5月末（片脚）

6月中～現在

現在

下部回旋テスト $+/+ \rightarrow -/+$

荷重バランス $55/35\text{kg} \rightarrow 42/48\text{kg}$

片脚立位 $3/1\text{秒} \rightarrow 20/27\text{秒}$

ファダーフ $-/+ \rightarrow -/-$ ファベレー $+/+ \rightarrow -/+$

WBI $40/43 \rightarrow$ 未測定 %MV $47.8 \rightarrow$ 未測定

改善の考察

- ・ 歩行時の改善点として
左右の動揺減少にて前方への推進力向上、
エネルギー効率の改善が見られた。

歩行時の骨盤傾斜軽減にて仙腸関節への
ストレス軽減、疼痛軽減に繋がった。

F.F.W.